



やまと保育園護摩祈祷

去る2月22日、毎年恒例のやまとと保育園の園児たちの護摩祈祷が西山本堂にて厳修されました。普段あまり体験することがないであろう、仏さまの前で正座をし、胸の前に手を合わせて合掌し、僧侶のご祈祷を騒ぐことなく、静かに受けていました。その後は僧侶による「紙芝居」が行われ、ご祈祷とは違つて楽しく、そして笑いも混じりながら話を聞いていました。園児たちはどうつて貴重な体験となりました。



吉田兼好

夏安居

■『開白』5月30日(水)～『結願』8月3日(金)

御正當

■5月6日(田) 13時より 西山本堂にて
御正当

参拝ください。甘茶のおふるましと供花のおさかを
ござります。

◆奉納写経　(当日12時30分までに納経所にて持参ください)
開祖・弘法大師さまが御入定された、旧暦3月21日
「御正當」といいます。全ての人を救う為に今も高野山
奥之院で衆生救済の祈りを続けておられるお大師さま
の御遺徳を使ふ日です。当曰は皆さまにご参列いたし
ける法会を厳修いたします。

『開白』5月30日(火)・『吉原』8月3日
(志納料 1巻1,000円)

●東海三十六不動尊霊場お砂踏み大祭に合わせ、開壇されます。お砂踏みと札所の「お砂」をそれぞれ集め、その「お砂」をえてお砂「を踏みながらお参りすることでお砂踏みは、実際に靈場巡礼を行つたことと同じであります。

にををたを

八事山歲時記

八
寺
山
文
庫

-3005号-

特集

- | | |
|------------|--------|
| 三百回御遠忌によせて | p.2 |
| 八事の真実・現場の声 | p.6~10 |
| 八事論壇 | p.11 |

■5月22日(火) 13時より

■6月5日(火)・13日(水)

(各日共通) 1座目：12時30分より
2座目：12時より

お坊さんダイレクト
！仏事の選択に僧侶がホンネで答える新スタイル相談会
5月5日（土）・11日（金）・17日（木）
各日 10時～15時 完全予約制（各回50分ずつ）
慕じまい！仏壇じまいの疑問、永代供養・葬儀のご相談などお気軽にお聞き合わせください。
★予約申込 公式ホームページまたは電話にて

日本には、雨期は無いのですが、その風習だけが伝わりました。ここ八事山興正寺に於いても真安居期間中は、西山本堂にて僧侶が梵網經」という、戒律のお経をお唱えして懺悔と戒律の大切さを改めて見つめ直す為に、お勧めいたします。

インドでは、毎年雨期にあたる旧暦4月16日から7月15日の3ヶ月間は、草木が生い繁り、昆虫や蛇などの動物たちが活発に活動します。修行僧は、それらの生き物に対して無用の殺生を避けるために、托鉢や布施を行なう遊行をせず、1ヶ所に集まり(その集まつた場所が寺のつまりともいわれています)修行しました。

●東海三十六不動尊靈場お砂踏み
大祭に合わせ、開壇されます。お砂踏みとは、靈場各
札所の「お砂」をそれぞれ集め、その「お砂」を札所とど
えてお砂を踏みながらお参りすることです。その
利益は、実際に靈場巡礼を行つたことと同じであるとい
われております。

れであります。
不動堂大祭では興正寺不動明王に
あやかる不撓不屈の精神、御自身を
律する強い心と負けない気持ちを
養う為の訓戒として、御内からあなた
への「一文字(自戒念字)」を特別に授与
致します。
祈禱料 2,000円

興正寺開山和尚 三百年瑞圓照和尚に寄せて

興正寺開山天瑞圓照和尚三百回御遠忌法要 御報告

天瑞圓照和尚の足跡をたどる(5)

川端 豊智

カレンダー連動企画(5)

(平成30年5月カレンダーより)

【第五回】—修行の日々と大日如来—

平成30年は興正寺開山天瑞圓照和尚の三百回忌です。各地を歴訪する中で真言律宗の寺院建立を志し、縁あつてこの八事の地に八事山遍照院興正律寺を創建した和尚はいかなる人物であったのか。寺に伝わる文物からそれを紐解き、一年にわたりご紹介します。また、今年の興正寺カレンダーでも同内容を掲載しておりますのでご高覧いただければ幸いです。

はじめに

三百回忌法要のご報告

毎年三月十四日は興正寺開山和尚の祥月命日で、奥ノ院で法要が行われます。とりわけ今年は三百回忌にあたり、檀信徒さまにも参加いただき、西山本堂でもおつとめさせていただきました。



開山忌記念茶会のご報告

例年、濃茶席と薄茶席の二席で開催しております。今年は開山和尚の三百回忌という記念の年でもあることから、供茶も行いました。それの席は裏千家の伊藤宗觀先生と小塙宗康先生に懸念をお担当いただき、295名の方に参加いただきました。



八事山文庫五月号執事の締め切りが迫っているにも関わらず、何も手につかない。日々眼前に山積したものをひとつひとつこなしていくことに戦慄苦闘するばかり。しかし、締め切りは待ってはくれない。今年の興正寺カレンダーの写真を見つめているだけでは、一行の文章すら浮かんでこない。何か筆を起こす切っ掛けとなることは無いか。实物を見てみたいと思いつ立ち竹翠亭に赴いた。

六畳程の広さの「出逢いの間」にその襖絵はある。カレンダーでは、写真の都合上並べて配置されているが、実際には正面中央に金色に輝く阿弥陀さまがいらっしゃり、その左右、向かって右に山田大作氏の筆によって墨の濃淡だけで光明の中に浮かび上がる大日如来、左には木立の中で深々と礼拝する若き日の天瑞和尚。

私は、阿弥陀さまと対峙する形で静かに腰を下ろし左右の襖絵を見やる。次の作業が待っているので長居は出来ないが、数分間、今を遡ること二百三十年前光景に思いを馳せつ、八事山興正寺に入山して二年目が過ぎようとしている自分自身を振り返った。「苦しい」「身体のどこどこが痛い」「これ以上は限界だ」「何故にこんなことをやらされているんだ」と、次から次へと云々する泣き言や不平不満との鬨の連続だった二年間。この先も自分との鬨に勝ち続けていかなければならぬ。確固たる自信はまだないが、今日この場からまた一步、修行は続いていく。

修行に明け暮れる中で、ある時和尚は光明を得、大日如来とまみえたといいます。

「あまりに尊いそのお姿に、きっと和尚は

ひれ伏し額づかれたであろう」と、水墨画

家山田大作氏は考え、「襖絵 天瑞圓照和尚

一代記に描きました。

如来は真言密教では両界曼荼羅(金剛曼荼羅・胎藏曼荼羅)の主尊(それぞれの曼

荼羅の中で中心となる仏のこと)で、最高

仏として祀られるみほとけです。宇宙の真

理を現すとともに宇宙そのものでもあります。また、命あるものはすべてからく大日

如来から生まれ、他の如来は大日如来の化身ともされています。

悟りに必要な智慧を象徴する金剛界大日如来と無限の慈悲を象徴する胎藏大日如来。和尚に道を示された大日如来は、尾張徳川家二代藩主光友公との出会いを経て、興正寺の総本尊として祀られることになります。(川村)



特別朱印帳 一千円(特別朱印つき)

特別朱印帳

御朱印は、寺院や神社に参拝した証としていたく墨書きされた御本尊名や寺社名に御宝印が押されたものです。興正寺では六仏の御朱印を授与していますが、仏縁さ法会の日には特別な御朱印が授与されます。本年は開山和尚三百回忌であることから、「特別朱印帳」と紺紙金泥の特別朱印」を限定三百部おつくりしました。

天瑞圓照

年次年
三月十四日

八事山興正寺

私は、阿弥陀さまと対峙する形で静かに腰を下ろし左右の襖絵を見やる。次の作業が待っているので長居は出来ないが、数分間、今を遡ること二百三十年前光景に思いを馳せつ、八事山興正寺に入山して二年目が過ぎようとしている自分自身を振り返った。「苦しい」「身体のどこどこが痛い」「これ以上は限界だ」「何故にこんなことをやらされているんだ」と、次から次へと云々する泣き言や不平不満との鬨の連続だった二年間。この先も自分との鬨に勝ち続けていかなければならぬ。確固たる自信はまだないが、今日この場からまた一步、修行は続いていく。



△襖絵開山天瑞圓照和尚一代記 修行の間

新 杜のコラム

大正十一年日本に向かう船上で物理学者アインシュタイン博士のノーベル物理学賞の受賞が決定した。東京駅では身動きが取れないほどの歓迎を受けたそうだ。博士は滞在先のホテルでベルボイに、チップの代わりにメモを渡し「運がよければこれは普通のチップよりも価値のあるものになるかもしない」と語ったという。近年、ドイツ語で書かれた古ぼけたそのメモは競売にかけられ、瞬く間に吊上があり、予想を遥かに超える一五六万ドル(約一億七千七百万円)で落札された。

メモには「静かで質素な生活は、絶え間ない不安と共に成功を追い求めるよりも、多くの喜びをもたらす」と独自の幸福論が綴られていた。研究という仕事に一生を捧げ、名声を得た博士だが、長年思い描いた目標を達成する事が、決して幸せに繋がるわけではないという。O E C D の幸福度調査の項目の一つに「仕事と生活の調和」がある。現代人の幸せを測る為には、仕事と生活のよい塩梅は欠かせないのである。生活や働き方が如何

少欲知足

に変わらうと、人間には永劫的に変わらない欲がある。ある者は生活の安定とより豊かな生活を求める。ある者は仕事で更なる高い地位・権力・名声を求める。仕事も生活も追い求め過ぎると地に足がつかなくなるもので、過ぎたるはなお及ばざるが如しである。博士は来日の際「花束で飾られた部屋は贅沢すぎる」と質素な部屋に変更するよう求め、服は高価な物ではなく、穴が空いており当て布で修繕していたという。釈尊の説く幸せの公式は、「少欲知足」という名の鉛筆を手持ち「仕事」「生活」=0とすることだろう。仕事と生活も割合は偏らず日々勤めることこそ五月病の薬となるかもしれない。(惠般)



興正寺さんぽへ出かけましょう!

興正寺の境内を歩き案内♪
八事山文庫を持って、興正寺を歩いてみませんか?
いつもと違った発見があるかもしれません!

興正寺さんぽ② 平成大仏さま～五重塔

さあ、中門(図②)をくぐったら、平成大仏さま(図③)へご挨拶…の前に、手水場で身と心を清めましょう。柄杓で水をすくって、右手、左手、口をすすぎます。また一つ、仏さまの世界へ近づきましたよ。平成大仏さまは、正しくは釈迦牟尼大仏と申します。釈迦国の王子さ

まとして生まれ、仏陀となって仏教を私たちに最初に伝えてくださった方の像。よくお姿を見てみましょう。大仏さまの親指のところに水かきがありますよ。たくさんの人を救いたいと言う優しいお心を示しているとか。その手から五色の紐が下がっています。鰐口を鳴らし、合掌したら紐を手にとってお参りしましょう。今から300年前に亡くなられた開山天瑞圓照和尚が、この地を守り、皆の幸せを祈って描かれた釈迦牟尼仏の絵姿を元にしています。大仏さまのお顔は遠くから見ると優しく、間近から見上げる

と厳しく見えると言われます。大仏さまは興正寺のシンボルであり、誇りである五重塔(図④)を背にして安置されています。五重塔は五層の建物、五階建てではなく、上まで上ることはできません。真ん中に心柱が建ち、大日如来さまが柱の中におられます。その柱を背にして4体の仏像が坐す、…それが五重塔なのです。周囲をぐるりと巡りながら、もう少し塔の周りを歩いて見ましょう。(井上)



興正寺のまなびの講座を通して
回復整体を知つてもらい、
健康と笑顔を増やしていきたい。

えんじゅ 回復整体 延寿

まちだ かずひさ
自然を求めて旅する整体師 町田 一寿さん

身体を揺らして筋肉を緩め正しい身体のバランスを取り戻すことで、歪みからくる痛みなどを元から治していく回復整体を出張専門で行っている。月に一度、興正寺の「まなびの講座」も担当している。



人と街とお寺をつなぐ場所 八事山文庫 地域版

興正寺で毎月行われている、「まなびの講座」。その講座の中で、回復整体という手法をベースにした「一怪我をしにくいカラダづくり—ゆる筋セルフケア体操」を指導されている整体師の町田さんにお話を伺つた。

町田さんが整体師になったきっかけは、「10年ほど前に苦しんだ自身の腰痛」だったそうだ。

長時間のデスクワークで腰痛が酷くなり、整形外科やカイロプラクティック、鍼灸院、気功など様々な所へ通つたが、なかなか良くならなかつた。とにかく痛みを何とかしたいと探し回り、行き着いたのが回復整体だったという。「施術を受けた時は正直効いてる気がします。しかし、あるストレッチを教えていただき、寝返りすら出来ないほど腰が痛む時にそのストレッチを行つたところスッと痛みが引いたんです。それでそこに何度も通つて整体の良さを身を持つて知りました」と町田さんは語つた。痛みから開放された感動が忘れられず、施術する側になりたいとそこから念が起し回復整体を学べる学校に通い、整体師になられたのだそうだ。

整体師としてだけでなく、整体学校の講師としても指導をしていた町田さん。回復整体の普及のために、地域のカルチャースクールや健康事業の一貫としてサッカークラブなどで講座を開いたりもしていた。「そんな中で、興正寺がまなびの講座を開催していることを新聞で見て、ぜひ何か講座をやさせてもらえないか?」と、連絡させていただいたのが最初でした。それから現在に至る一年間、興正寺

で講座を持たせていただいているます」と町田さん。

そんな町田さんが指導する「怪我をしにくいカラダづくり—ゆる筋セルフケア体操」とは、一体どんなものなんだろうか。

「身体を家に例えて考えてみま

しょう。家が水平ではなく歪んでいたとします。それが原因で屋根の瓦が落ちてしまった。その落ちた瓦を修理するためには、瓦屋さんに頼んで新しい瓦を敷いてもらわなくてはいけませんが、家自体が歪んでいては新しい瓦を敷いたところで、また瓦は落ちてしまう。家の歪みを直さない限り、それは改善されないわけです。ですから、身体も同じくまずはバランスを整えることからはじめます。健康のための運動を行つても身体が歪んだままでは、逆に変な負荷がかかり身体を痛めてしまうこともあるからです。」

と町田さんは言う。「この講座では、最初に軽いストレッチで身体の歪みを整えてから、身体を支えるために必要な体幹を鍛えるための簡単な筋トレし体操を行い、最後また軽いストレッチで身体を整える。といったことを行います。誰でもどこでも出来る体操なので、気軽にお越しいただければと思っています。興正寺のまなびの講座で、多くの人に回復整体を知つていただきたいですね」と笑顔で町田さんは語つた。

身体に無理なくできる体操で健康づくりを行つていけば、これから的生活をもっと楽しんだり快適に過ごすことができるのではないかだろうか。



まなびの講座では、大書院の和室を教室にしてゆる筋セルフケア体操を指導。



回復整体の施術はとてもソフトで、揺らす・さするが基本。



椅子に腰掛けたままできるストレッチなどもある。

A Q

永代供養を探しているのですが、選ぶ時のポイントはありますか?

仏事の疑問に僧侶がホンネで答える
「お坊さんダイレクト」の出張版!
皆様のひと言お悩み相談に、僧侶・樹田英伸さんがお答えいたします。

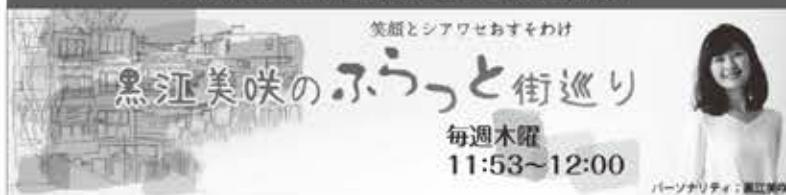


仏事のお悩み相談室

【必要事項（お葉書き記入ください）】
・ひとごと相談（40文字まで）
・お名前
（複数不可の場合は、ペンネームも一緒に記入ください）
・年齢
・性別
・ご住所
・お電話番号

お葉書きに必要事項を明記の上、左記宛先までお送りください。
【お葉書きの宛先】
〒466-10825
愛知県名古屋市昭和区八事本町7-8
八事山 興正寺 普照殿内
八事山文庫「仏事のお悩み相談室」係

「もっと地元を好きになってほしい」という想いから生まれた
八事山興正寺の提供のラジオ番組です



黒江美咲のふうっと街巡り

毎週木曜
11:53~12:00

パーソナリティ：黒江美咲

知ってるお店が登場するかも?! @FM80.7

4月5日
放送

船バル酒場くらむほん

天白区塩釜口二丁目1404ホワイトモール2F TEL:050-5570-0964
日~木/17:30~翌1:00
金&土/17:30~翌3:00 定休日:なし

船内エリアと港エリアに別れた店内は遊び心たっぷり。新鮮な馬肉料理をはじめ、バル料理やスイーツとラインナップは豊富。レモンサワーについてくるレモンをどこまで積み上げられるかチャレンジするレモンタワーは、インスタ映え間違いなし!

4月12日
放送

両いなはん

天白区塩釜口1丁目840番地 TEL:052-848-8339
昼/11:00~14:30(土日祝は15:00)
夜/17:30~24:00(土日祝は22:00) 定休日:不定休

和食処 稲繁がプロデュースする丼専門店。おいしい魚を手軽に味わっていただきたいという思いから駅前にオープン。ネタだけでなく契約農家直送のお米にもこだわっています。大好評の日替わりワンコイン丼や、季節限定丼をどうぞ。

4月19日
放送

レストラン金鱗天白店

天白区塩釜口2-801 TEL:052-833-6261
10:30~21:00(近隣大学の長期休暇時期は変更あり) 定休日:日曜日

近隣学生から愛されるレストラン。卒業後も同じ味を求めて訪れる人が多いとか。ボリューム満点の定食メニューに加え、薄焼き卵のオムライスも盛りでおすすめの一品。お食事メニューのほとんどが800円以下とコスパが良くてお財布にありがたいお店です♪

4月26日
放送

青春貴族ブルーラグーンレストラン

天白区塩釜口2-201 TEL:052-836-7210
18:00~深夜 定休日:不定休

サメが大きな口を開けたゲートをくぐり、中に入ると別世界。海の中にいるような店内は、全て店長の手作り。日々増えていくというメニューは、何を頼めばいいのか迷うくらいの品数です。店長が大ファンだという少女時代にちなんだオリジナルカクテルも楽しい。

radiko.jp

今いるエフエムで放送しているラジオ局の番組をパソコンやスマートフォンで聴くことができるサービスradiko(ラジコ)にて、過去1週間分の放送を聴くことができます。こちらのアドレスよりアクセスして下さい。 <http://radiko.jp/>

こちらからもお聞きいただけます <http://fma.co.jp/f/prg/machimeguri/>

「じもポン(地元応援クーポン)」が使える加盟店さんをご紹介!

第2回 地元応援クーポン

じもポン
を使ってみよう♪

じもポン(地元応援クーポンの愛称)とは
八事・秋田・塩釜口エリアの提携店舗で
使用できる興正寺発行の地域振興券です。
(本券は、興正寺のさまざまな行事等で進呈いた
しております。)



ざっしりボリュームのあるかに太巻き(1,500円)

興正寺を出てすぐの交差点にある
「札幌かに本家 八事店」さん。八事の
ランドマーク的存在の老舗です。かに
を贅沢に使用した豪華かに会席から、
一品料理まで充実のラインナップ。
お土産の太巻や寿司折も人気商品
です。(河村)

札幌かに本家 八事店

名古屋市昭和区八事本町100-37 TEL:052-831-3456

営業時間/月~金 11:30~22:00(L.O.21:30)
土・日・祝 11:00~22:00(L.O.21:30)
定休日/不定休



冠のようなサンショウの花

この号が出る頃は、八事の
お山はもう初夏の香り。写真
は山茱萸(サンショウ)という黄色の花の
アップ、すでに花は終わって、
今頃は若葉の頃です。でも、
この見事な造形をぜひご覧
いただきたくて載せました。虫眼鏡を使わない見えない
くらい、实物はどうしても小さく
て、いくつかの花が2cmほどの
丸い塊になって枝を彩ります。
遠目に見ると、枝に金色の粉
を振りまいたよう。きっとご覧
になつた方も多いでしょう。
光明殿の北庭に3本だけあり
ます。この木は花も美しく、
実は食用で漢方薬の原料にも

なります。でも、そんな人間に
とつて都合の良い事よりも、
自然が与えたこの愛らしい金色
の花冠を目にするごとに、そこ
はいられません。今月の八事
の花冠を目の前にすると、そこ
かしこに垣間見える仏さまの、
命への深いまなざしを感じずには
お山は「ゆく春を惜しむ道」
歩きましょう。梅の若い葉
や若緑に染まる桜、ユニーク
な形と獨特な香りの栗の花
など、仏さまからの冠が全ての
命にきらめく様が見えるで
しょう。ゆく春を惜しみながら、
焼けに気をつけて……歩いて
みましょう

(井上)

お知らせ掲示板



甘味・食事処 八琴庵

5月 季節のそば

たけのこ蕎麦

5・13・21日限定



興正寺の竹林で採れた、旬のたけのこをたっぷり使用。
香り高い山椒の葉がアクセントになります。
春限定の一杯、ひやかけでさらりとお召し上がりください。

5月定休日:5/8(火)、6月定休日:6/12(火)

営業時間:10:00~16:00(L.O.15:30)

定休日:毎月5日を過ぎた火曜日

八事のお山の
昨日 今日 明日

今、寺での修行体験が望まれる

100年先を描く八事論壇

その開創の歴史より学問修行寺の伝統を受け継ぐ、興正寺の興正寺による興正寺のための論考です。私たちは常に先を見据えて考え続けます。

と一緒に年2回行っている「終活道場」(本年より「いのちの修行」「日体験」と改名)。そして、企業様や団体様向けのオーダーメイドの「日修行体験(企業研修)」だ。

次年度は「輪廻転生」、その次は「供養すること、供養されること」。そして本年のテーマは「祈りのある、日暮らし。誓願のある、人生。」ひそかに、この「いのちの修行一日体験」が以前に行っていた一般向けの「一泊修行体験合宿」の進化形ではないかと思つてゐる。

さて、企業研修である。かつては依頼に応じて相談し作り上げるどちらかというと「受け身」の企画であつたが、寺として主体的に取り組むようになつてからは、具体的に研修を受

積み上げてきたものではあるが、「どの内容がどういう成果に結実するのか」が明確になり、具体的な成果を必要とする企業様や団体様に大変喜ばれている。実例をいくつか挙げると、企業経営者のご子息たちの学校で長時間の護摩加持などの厳しい修行を所望されたり、某小売店のユニークな新卒内定式として「社会人になるために」というテーマでの法話や瞑想、護摩行などの研修を組み合わせたり、とある専門学校の卒業生を対象に、卒業直前に寺での修行

た苦労なども、これを書いている今、走馬灯のように脳裏を巡っている。総じて言えることは、昔からなかのかもしれないが、今こそ本当に寺での修行体験は「望まれている」ということ。集まつて来られた方々のお顔は、必ず来られた時よりも帰られる時に、より素晴らしいくなっている。現代の社会で失われたものが、寺の中にはまだまだ満ち溢れている。それはゆつたりとした時間であり、何もない空間であり、自分のちっぽけさに気づくことであり、仏教という未



1995年、京都・佛教大学卒。京都・法然院、鎌倉・長谷寺など東西に巡錫した後、2012年、ここ興正寺に。創建来の「学問寺の伝統」を表現する硕学として、各種講座や法話・絵解き・座禅指導等、教化布教の中心を担う。著作に『絵本極楽』(風漁社・2009年刊)ほか。

内を語りだす。仏縁に惹かれて集まる方々だから、真摯な想いが溢れ出

すと止まらなかつた。また受け入れる側も、誰もが菩薩様のお顔になつていた。2年ほど続けたが、興正寺の施設の利用状況が増え、コンスタントに会場を利用できなくなり、一般向けの修行体験はひとまず終了した。しかしその方法論は様々に応用され、興正寺の行事に活かされてゐる。毎年大人気の夏の「こどもお泊り会」。また、終活ライフプランナー

書かねばならないくらい伝えたい想いはある。終活ライフプランナーの先生の「本来の終活とはどうあるべきか」という想いに応えるべく、僧侶の立場から全力で考察したことをテーマに据えている。そのテーマ 자체も、素晴らしい精度でステップアップさせている。これは、通して参加されている方にしかわからない醍醐味であろう。初年度は「生と死」、

ることでどのようなメリットがあるのかを明確に打ち出し、お茶室・竹翠亭での和のマナー講座や護摩加持祈祷のオプションなど、寺内のリソースをフル活用して構成されるようになり、たとえば新入社員の教育に頭を悩ませている企業様からのご要望をお伺いし、最適なプログラムをご提案していく、といったスタイルに切り替わった。ベースは今まで

間を体験していただきたい、と心から願う。

を体験することで、社会人になつて
もしつかりと辛いことに耐えられる
ようにしてほしい、といった依頼に
応じたり。書き連ねるだけで、とて
も思い出深い。合宿にはコアなファ
ンが多かつたし(実際、今でも興正寺
の行事に参加なさる方も大勢おられ
る)、企業研修の相談を受けた時の
担当の方の熱い想いや、一緒に知恵
を出してより良いものを作ろうとし

●編集部注：本論稿は、次号以降も、興正寺が誇る碩学僧・樹田英伸師を始め、「寺院経営総合研究所」の研究員を兼務する當山僧侶職員の研究成果発表の場として位置付けて参ります。時代が要請する宗教の役割や寺院経営の在り方など、當山ならではの独自の視座を提供できることでしょう。〔監〕

●編集部注：本論稿は、次号以降も、

今、寺での修行体験が望まれる

次年度は「輪廻転生」、その次は「供養すること、供養されること」。そして本年のテーマは「折りのある、日暮か」が明確になり、具体的な成果を積み上げてきたものではあるが、「どういった成果に結実するのか」とは、昔からうなづか走馬灯のように脳裏を巡っている。

寺宝通心

— 第30回 —

春の宝物展



八事山起立山縁書

年に一回開催する興正寺宝物展。今年もその季節がやってきました。【平成三十年は興正寺開山和尚の三百回忌】と随所でお伝えしておりますが、今年の宝物展のテーマもそれにのづいたものです。春は興正寺三百三十年の歴史をたどる内容で、秋は今年の興正寺カレンダーに掲載した文物を展示紹介いたします。

興正寺創建は、元禄元年(一六八八年)のこと。和尚が尾張徳川家二代藩主光友公の知遇を得て名古屋城に客僧として招かれ、その後帰依を受けたことでのりました。そして「八事山遍照院興正律寺」の寺号も賜り、学問と修行の寺として今日まで多くの参拝者を迎えてきました。

創建から今日までの三百三十年には、様々な出来事がありました。元禄から宝永年間(一六八八~一七二二)にかけては、尾張藩の底渡の元順調に寺門を守っていましたが、享保年間に入ると(一七二六)尾張藩の財政逼迫を受け、援助が打ち切られます。頼る先がなくなり、自力で寺を運営していました。そもそも成り立ちが「学問と修行の寺」であつたこと

から、檀家をもたず寄付とわずかな石高のみが頼りでしたので、自力で運営資金を調達することは大きな変化であったと推察されます。

今月の興正寺サン

千葉県在住 よつちやん
西区在住 さつちゃん

正寺にある先祖代々の
お墓をお参りする日。
さつちゃんは、毎年その
お墓参りに付き合つてく
れるのだそう。子どもの
頃から興正寺を知る
よつちゃんは「境内は随
分変わつたけれど、五重
塔は昔と変わらない姿
で迎えてくれるし、キレ
イになつて桜も美しく、
お参りしやすくなつたわ
ね。」と話してくれた。
明るくて素敵なお二
人に、元気をもらつた。
よつちゃん&さつちゃん、
これからも仲良しで。

安城市在住
松川さん碧子

長女は、興正寺の回廊
がすこく氣に入つて結婚式
をここで挙げることを決めたみたいで。」
とのこと。

四月の今頃、長女が興正寺で結婚式を挙げる
ので、今日は次女と一緒に咲く中で、素敵な結婚式が挙げられることに、この時期の興正寺の
来年の四月、桜がキレイに咲く中で、素敵なもの

「六曜」とは大安、赤口、先勝、友引、先負、仏滅の事です。その吉凶は信憑性がない、と一時期禁止になりました。実はこれ、中国で考えられた暦の数え方で、旧暦ひと月30日を6日ずつ5箇分したもの。基本的にはこの順番で繰り返しますが、絶対合わなくなります。そこで、例えば1月7日の朔日は先勝から、2月8月は友引からスタートする、というルールで六曜を決めました。やがて新暦になると六曜の循環がある日突然断ち切れて、別な六曜に変わつて進んでしまつ……という神秘さがウケて今に至っています。今までこそ

凡事今昔物語

こよみよ
五月・皐月
田植えをする「早苗月」
梅雨の始まり「五月雨月」

五月五日 立夏

五月二十一日 小満

5月

割安だから仏滅に結婚式を挙げよう、
というカップルも増えてます。さて、
六曜と共に私達の暦に根強く生きて
いるのが十二支です。寺では戌の日に安産
祈祷をします。戌(犬)は多産安産の
動物とされたからですね。他にも初午
だからお稲荷さんへ商売繁昌祈願を
という方も多いのは?午(馬)で稲荷
(狐)とはこれ如何に?といふところで
すが、結構深い智慧と経験が詰まっています。イナリは稻成や稻荷と書かれ、
五穀豊穣・商売繁昌の信仰へと変わつて
いつたのですね。(午と狐については長く
なるのでまたいすれ午の日は風が強い

日が多く大火事が起りやすいといわれます。これに内午生まれの八百お七の伝承が混じって「丙午生まれは何とやら」という迷信まで生んでしました。特に惑わされる事はないですが、その根底にある経験が言わしめたた考えれば、未だに根強く旧暦が寺や行事に生きている理由もわかります。「迷信に動じない智慧を持ち、昔の経験は大切に。」お寺は神仏の智が生活に生きていることを感じさせてくれる絶好の場所なのです。(井上)

興正寺僧侶と行く 団体参拝

【参加人数】28名
【随行僧侶】三井正優 僧侶
【担当職員】樹田英伸 僧侶

3月27日(火) 名古屋二十一大師・
なごや七福神めぐり

桜が爛と咲き誇るなか、興正寺団体参拝の皆さま
で名古屋の弘法大師さま、七福神さまのお寺を巡りました。
合計21ヶ寺をお参りするためにはバスの乗り降りを繰り返し
ましたが、参加なさった皆さま、お疲れの様子もなく、むしろ
ますます良い笑顔で参詣を重ねられました。各寺院の
すまいに感じ入り、花に喜び、真摯にお絃をあげ、僧侶の
法話に耳を傾け… また、お見送りくださる御寺院
さまに一番の笑顔で手を振り、時々は弘法さまのお参りと
いうことでお下がりのお菓子まで戴き、わくわく、にこにこ
のあつという間の一一日でした。盛場巡りの巡礼の旅ということで、ご希望に応じて名古屋二十一大師の納経帳や、なごや七福神巡りの宝印帳に御朱印を集めたり、
七福神の二つ折り色紙や大色紙を完成なさったりと、皆さまに神仏とのご縁を深め
た旅になりました。終了後も「また是非参加したい」「秋にもないのですか?」などの
嬉しいお言葉を頂戴しました。(柳田)



**正徳義
ヨウク** 每年恒例の別荘ではありますか。今年は特に満開の桜が印象的でした。また、一緒に行ってくださった柳田恒剛のお話で気になかった聖闘士星矢の一面を教えて頂き、熱血になりました。毎年訪れることでそれぞれの御前院さまの様子も伺うことが出来、お忙中の両親も見たせるのも時時嬉しいです。皆さんと一緒にとても楽しかった別荘が来年も!



■ 旅行日程：平成30年6月15日（金）日帰り

■ 基行收入：10,000里

■ 申請終期（算作人数）：平成26年5月24日（火）午後

■ 安徽省《45名“两代表一委员”违纪违法问题》

・旅行代金に含まれるもの：行程に記載された交通費、食事料金、観光料金（ご朱印は各自でのご負担となります）
・パス、荷物手配料等は付いていません。あらかじめご了承ください。
・支払は現地にて現金のみとさせていただきます。

当申込み・お問い合わせは「芸術祭用体験料について」とご連絡ください
八事山興正寺 TEL.052(832)2801

株式会社ワークシステムサービス
株式会社ワークシステムツーリスト

興正寺行事カレンダー

5月

普門園拝観(竹翠亭利用)時間 10:00~16:00
休園日(休業日) / 3(木・祝)・7(月)・12(土)・14(月)・16(水)・18(金)
19(土)・20(日)・26(土)・27(日)・30(水)・31(木)

月	火	水	木	金	土	日
30 大安	1 赤口	2 先勝 ▽遊翠の心きもの装い 初級 10:00 応用 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ★永代供養受付定休日	3 友引 憲法記念日 ▽遊翠の心きもの装い 初級 10:00 応用 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	4 先負 みどりの日	5 仏滅 こどもの日 立夏 ▽大隨求明王 緑日 露店アリ 10:00 千支成満巡り ▽大般若經転読祈祷会 10:00 11:30 西山本堂	6 大安 戌の日 ○安産合同祈祷会 14:00 西山本堂 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村智弘 ○御正當 13:00 西山本堂 大隨求明王
7 赤口	8 先勝 ○大日如来縁日 理趣分經祈禱 12:30 大日堂 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ★春の宝物展 10:00~16:00 大書院 (拝観料) 500円 ★八琴庵定休日 ★永代供養受付定休日 大日如來	9 友引	10 先負 ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 桝田英伸 ▽阿息觀 14:00 奥之院 杉浦宣秀	11 仏滅	12 大安 ☆興正寺月釜 10:00~15:00 二席 1,500円	13 赤口 ○虛空藏菩薩 緑日 露店アリ 10:00 千支成満巡り 10:00 法話会 虛空藏菩薩
14 先勝	15 仏滅 ○東山 奥之院縁日 13:00 奥之院 善之網おぐり ★永代供養受付定休日 阿彌陀如來	16 大安	17 赤口 戌の日	18 先勝 戌の日 ▽仏典読解講座 10:00 普照殿 桝田 英伸 ○觀世音菩薩縁日 13:00 觀音堂 護摩祈禱/法話 ○安産合同祈禱会 14:00 西山本堂 觀世音菩薩	19 友引 ☆一日修養会 10:00 光明殿 要予約 ▽御詠歌入門講座 14:00 普照殿 鈴村智弘	20 先負 ▽阿息觀 14:00 奥之院 杉浦宣秀
21 仏滅 小満 ☆TERA-YOGA 10:00 普照殿 要予約 ○弘法大師縁日 10:30 弘法堂 読経/法話 ▽写経写仏講座 11:30 光明殿 ○月並御影供 14:00 西山本堂 弘法大師 興正寺マルシェ ★永代供養受付定休日	22 大安 ○花まつり 13:00 西山本堂 ★永代供養受付定休日	23 赤口	24 先勝 ○地蔵菩薩縁日 13:00 能満堂 大数珠おぐり/ 紙芝居 ▽遊翠の心 茶の扉 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 地蔵菩薩	25 友引 ▽遊翠の心きもの装い 応用 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ▽遊翠の心水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	26 先負	27 仏滅
28 大安 ○不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 不動明王 ★永代供養受付定休日	29 赤口 ☆いのちの修行一日 体験 10:00 大書院 要予約 ▽遊翠の心 阿息觀 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ★永代供養受付定休日	30 先勝 戌の日 ☆夏安居(開白) 9:00 西山本堂 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂 ▽阿息觀 14:00 普照殿 杉浦宣秀 ▽仏教入門講座 14:00 普照殿 森田泰澄	31 友引	1 先負	2 仏滅	3 大安

*阿字觀(杉浦宣弘師)／御詠歌上級講座(鈴村隆弘師)／御詠歌初級講座(鈴村智弘師)の開講日程については、担当僧侶に直接お問い合わせください。(電話問い合わせ不可)



5月22日(火) 13時より (12時45分より法話) 西山本堂にて

花まつりは旧暦の4月8日に当たり、この日は生身の人間で初めて、悟りを開き仏になられたお釈迦さまがこの世に誕生された尊い日です。お釈迦さまがお生まれになったルンビニー園に見立てた花御堂に、生まれてすぐのお姿のお釈迦さまをお祀りし甘茶をかけてお参りをしていただきます。

◆花ろうそく奉納 1,000円 ◆特別朱印授与(一休) 300円

